



撮影：天野雄介

巻頭言

あんず便りは今年で創刊 20 周年を迎えました。

天誠会武蔵境病院の創設は 1954 年（昭和 29 年）です。1994 年（平成 6 年）のあんず苑開設にあたり、東京都から、介護施設の開設に当たっては、利用していただく地域の皆様に、事業やサービスの内容を、わかり易く案内できる広報誌を創ることを勧められました。当時は医療機関が医療内容についての広報することには、かなり規制がありましたが、一方で老人保健施設のような新しい介護サービスについては、広報誌等を積極的に活用して、サービスの内容や費用負担等についても詳細に表示

することが求められました。基本的に利用者がサービスを選択して利用する制度に変わってきたからです。

そこで、1997 年（平成 9 年）小金井あんず苑開設にあたり、当時の武蔵境病院 院長 天野雄介が、天誠会の理念や具体的なサービスのご案内、医療や介護制度の情報等をお伝えする広報誌を創刊しました。表紙に人知れず山野に咲く小さな花々の写真を紹介し、楽しんでいただこうと「あんず便り」と名付け、山野草の写真の掲載を始めました。あるべきところにあるがままの姿を撮ることを信条としていた写真からは、自然からの癒しを感じていただけるのではないかと考えたようでした。

あんず便りの表紙写真は、そのほとんどを天野雄介撮影の山野草で構成してまいりました。創刊年の春の表紙を飾ったオキナグサ、綿毛に包まれた小さな蕾が、ガレ場に頭を擡げ咲いている姿は、凛として美しくまた可憐でもあります。厳しい環境下にもかかわらず、今年もきつと力強く花開いてくれたことと想いを馳せつつ、20 年ぶりに再登場の写真を紹介いたしました。

私事：今夏の猛暑に不覚にも熱中症を起こしてしまいました。水分摂取を怠ったことが原因でした。年齢、季節にかかわらず、水分補給には充分気を付けて、運動も怠らず元気に過ごしましょう。

一般財団法人天誠会 理事長 天野 久美子

本号の目次

1 面 ごあいさつ

2 面 地域包括ケア病床の開設について

3 面 地域包括ケア病床のご案内

4 面 事業所短信

一般財団法人天誠会 理事長 天野 久美子

武蔵境病院 院長 天野 英介

・武蔵境病院、あんずクリニック
・事業本部



地域の皆様が住み慣れたこの地域で より自分らしくいていただくために



一般財団法人天誠会 武蔵境病院
院長 天野 英介

当院が掲げている「地域に暮らす人々の健康を守ります」という運営理念の実践にむけて、平成29年10月1日より、武蔵境病院の病床機能の一部変更を行うことになりました。

当院は、昭和29年の開設以来一貫して地域に根ざした医療サービスの提供を行ってきました。結核病院から始まり、その後ベビーブームに沿うように産科を含む救急医療病院を経て、せまり来る高齢社会に向けて現在は医療療養型病院として機能しております。

かかりつけの患者様にとって、療養型病院の性格上、ベッドの回転率が低く、地域の医療ニーズに十分お応えできていなかったことの反省もあり、私が院長として赴任してからは、よほどの高度医療の必要がない患者様については、可能な限り当院で入院治療して頂けるよう尽力して参りました。ただし、療養型病院という枠組みの中にあっては、一般急性期病院と比べて看護師配置数が少ないなどハード面の制約もあり、必ずしも患者様に対して十分な医療提供ができていなかったことも事実です。

このたび、当院は医療療養型病院の機能は維持しつつも、病床の一部を地域包括ケア病床に転換することとなりました。

地域包括ケア病床とは言葉ではわかりにくいと思いますが、病床の機能として具体的には、(専門用語となりますが)① Sub acute (亜急性)、② Post acute (急性期後)、③在宅復帰支援の3つの柱を実践する病床とご理解ください。

① Sub acute (亜急性) とは、肺炎や熱中症、骨折、床ずれ(褥瘡)などにより自宅での療養が困難になった患者様を受け入れ治療することを指します。

② Post acute (急性期後) とは、私たちの医療圏域の基幹病院である武蔵野赤十字病院や杏林大学病院など

で急性期治療が一段落し、完治までの治療継続や自宅へ帰るためのリハビリ、介護プラン調整などが必要な方を受け入れることを指します。

③在宅復帰支援については、①②においても、ご高齢であり、自宅へ退院した後でも、介護サービスの利用が必要な方へ自宅退院後の介護サービス調整、もしくは入院に伴い体力・筋力が低下した方に対しての集中的なリハビリを提供し、退院後も住み慣れた自宅での生活が維持できるよう調整することを指します。在宅復帰支援については、医師や看護師のみではなく多職種(リハビリテーションスタッフ・医療ソーシャルワーカー・退院支援専門看護師・薬剤師・管理栄養士・ケアマネージャー・訪問看護師・訪問ヘルパー・福祉用具事業者など)の連携が重要になるのですが、当院では特にこの連携強化に注力して参りました。

これらの実践が、地域に暮らす皆様が、住み慣れたこの地域で健康に暮らしていただくため、私たちの病院に課せられた使命であると考えております。

退院に際して、病院での生活と退院後の自宅の生活とは大きく異なります。そのために、当院では、ここ10年、独自の退院支援を行ってまいりましたが、地域包括ケア病床を設置するにあたり、当院を退院した後も自宅に帰ってからケアを担当する在宅支援スタッフとの連携をさらに強化していきたいと考えております。具体的には、退院後、当院の看護師がご自宅を訪問し、医療的な観点から退院後の生活が安心して送られているかなどの確認、また必要であれば、当院もしくは近隣診療所の先生方と連携しての訪問診療の提供、当院かかりつけの患者様の在宅支援スタッフから要請があれば医師もしくは看護師がサービス担当者会議へ参加するなど、患者様の自宅での生活のサポートにも尽力していきたいと考えております。

まだまだ至らない部分が多々あるとは存じますが、地域の皆様には叱咤激励暖かく見守っていただければ幸いです。

今後とも当法人そして武蔵境病院につぎまして何卒よろしくお願い申し上げます。

地域包括ケア病床のご案内

武蔵境病院では、2017年10月1日から、療養病床の一部を、地域包括ケア病床へ転換しました。患者様が安心して、在宅復帰ができるよう、サポート体制を充実させます。

病室	2F 201号室・202号室・208号室
病床数	12床(各部屋 4床ずつ)

地域包括ケア病床とは

ご自宅での生活に戻るため、一定期間の加療が必要な患者様や、もともと在宅療養をなさっていたものの、症状の悪化やご家族の都合等により入院が必要になる患者様を対象とした病床です。”治療と並行して自宅へ帰るための準備を行う病床”とお考えください。

- ▶ 病状から、入院治療が必要な方。(当院外来からの直接入院)
- ▶ 病状は安定したものの、すぐに自宅に戻るには不安がある方。(他院からの転院)
- ▶ 自宅に戻る前に、しっかりリハビリをしておきたい方。(他院からの転院)
- ▶ ご家族様の都合により、一時的に在宅療養が難しくなった方。(レスパイト入院)
- ▶ かかりつけ医の判断で、加療、リハビリが必要と診断され紹介された方。

など

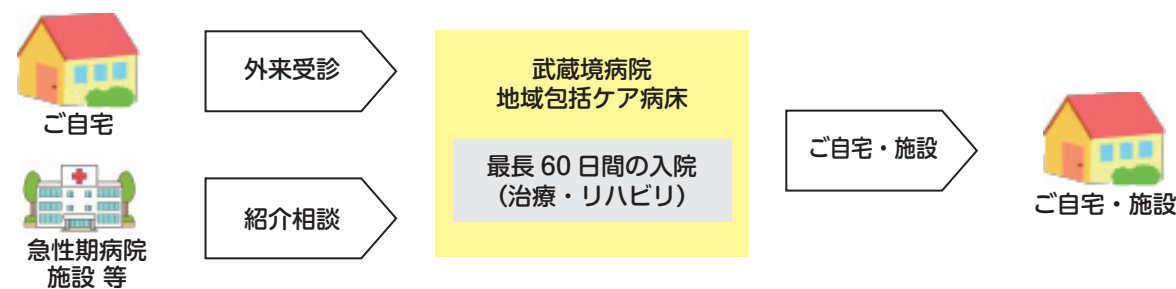
※入院には、当院外来を受診いただくか、かかりつけ医または入院中の主治医からの診療情報提供書が必要です。
※病状等により入院の適応を医師が判断いたします。

入院期間・入院費について

入院期間は、状態により医師が判断します。最長で60日間となります。

一日あたりの入院費は、原則として定額です。リハビリテーション、投薬、注射、処置検査、画像診断などの費用が包括的に含まれています。

イメージ



お問い合わせ

〒180-0022 東京都武蔵野市境 1-18-6 (JR中央線武蔵境駅 北口から徒歩3分)

一般財団法人天誠会 武蔵境病院 地域医療連携室
☎ 0422-51-0301 (代表) Fax 0422-53-0683 (直通)

事業所短信

【武蔵境病院・あんずクリニック】

インフルエンザの予防接種について。本年度のワクチンの生産量が、昨年の実績を下回る見通しとなりました。ワクチンの数量確保に尽力いたしますが、ご要望に沿えない可能性もございます。接種を希望される患者様は、武蔵境病院またはあんずクリニックの受付にお問い合わせください。

また、インフルエンザ以外でも、昨年から引き続き、麻疹ワクチンについては入荷できない状態が続いております。ご不便をおかけしますが、製品の需給が緩和するまでの間、もうしばらくご辛抱ください。

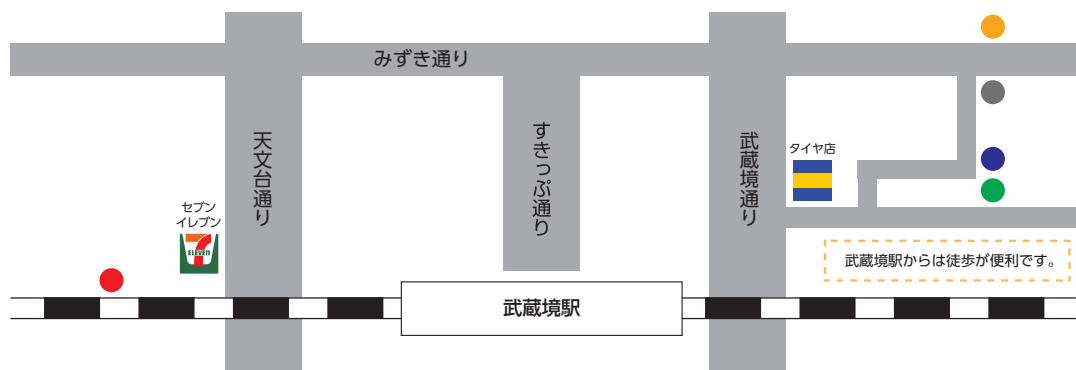


【あんずクリニック】

10月1日にて、開院3年となりました。まだまだ、発展途上の点もありますが、地域の皆さまの健康増進へ少しでも寄与できるよう、職員が一丸となって取組みますので、引き続きご愛顧のほど、よろしくお願い致します。

編集後記

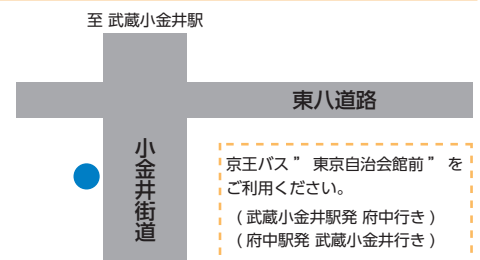
武蔵境病院の病床機能を変更するため、関東信越厚生局へ各種届出を行いました。小職も、事務長として非力ながらいくつかの作業を行いました。病院を運営するためには、厚生労働省や東京都へ沢山の届出が必要です。また、届出の内容通りに実務が実施されているのかをチェックするため、定期的に官庁の方々が監査にいらっしゃいます。その対応も大変です・・・しかし、公的保険を利用して地域の皆さまへの診療を行っているわけですから、当然のことです。当院は民間病院ですが、その業務は高い公益性を有しています。官庁のご指示を充足しつつ、地域の皆さまから厚い信頼を寄せていただけるよう、今後とも精進していく所存です（きたむら）。



● 事業本部 / 総務部	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-18-6	TEL. 0422-52-1345
● 武蔵境病院	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-18-6	TEL. 0422-51-0301
● 介護老人保健施設 あんず苑	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-18-5	TEL. 0422-36-6262
● 介護老人保健施設 あんず苑アネックス	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-19-20	TEL. 0422-36-3655
● あんず苑訪問看護ステーション	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-19-20	TEL. 0422-36-3666
● あんずケアプランセンター武蔵野	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-19-20	TEL. 0422-36-6565
● 武蔵境病院附属 あんずクリニック	〒180-0023	東京都武蔵野市境南町 4-1-15	TEL. 0422-50-9770
● 病児・病後児保育室 プチあんず	〒180-0023	東京都武蔵野市境南町 4-2-27	TEL. 0422-50-9774

● 〒184-0013 東京都小金井市前原町 5-3-24

介護老人保健施設 小金井あんず苑	TEL. 042-388-7511
グループホーム 杏の家	TEL. 042-388-7523
あんず苑訪問看護ステーション サテライト小金井	TEL. 042-388-7521
あんずケアプランセンター小金井	TEL. 042-388-7531
あんずホームヘルプサービス小金井	TEL. 042-388-7532
小金井みなみ地域包括支援センター	TEL. 042-388-8400



ホームページ



法人本部・介護・地域貢献
武蔵境病院
あんずクリニック

<http://www.tenseikai.or.jp>
<http://www.tenseikai.or.jp/sakai-hosp/>
<http://www.tenseikai.or.jp/an-zu-clinic/>